

令和5年度伊豆の国市立韮山中学校

学校教育目標 自ら学び 共に歩み 豊かに表現する生徒
重点目標 学びをつなぐ 仲間をつなぐ 行為をつなぐ

韮中だより

5月 華

令和5年5月26日発行

コロナ禍から学ぶ

韮山の山々が鮮やかな緑に包まれ、暖かな、時には暑さを感じる季節になりました。韮山中学校では、5月11～13日の3日間、3年生が修学旅行を実施しました。新型コロナウイルス感染症の感染症法に基づく分類が5類に移行し、奈良・京都には多くの修学旅行生や観光客、外国人旅行者が訪れており、コロナ禍前の賑わいに戻ってきたことを実感しました。

もちろん、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策は行っていく必要があります。私たち一人一人が感染予防の意識を持ちながら、行動制限のない社会生活を送っていくことが大切です。

この3年あまりのコロナ禍の中で、私たちは気付いたり学んだりしたことが多くありました。当たり前だと思っていたことができなくなったり、当たり前になってきたことを見直したりしてきました。その時々状況に応じて、何が最適か、何を变えれば物事を安心して行うことができるかを考え、行動してきました。生活を送る上で私たちの支えになったのは、家族や友達、先生などの存在だったと思います。コロナ禍で様々な制限を加えられた時、改めて周囲の人とのつながりを再認識したと思います。また、自分の時間も増え、自分自身を見つめ直し、新たに興味あることを見つけて取り組み始めた人もいます。

学校生活も、コロナ禍により様々な変化がありました。リモートによる全校集会や、タブレットによる学習、行事の精選など、令和の時代に合った新しい学校教育の検討を重ねています。

私たちは、これまでのやり方だけにこだわらず、新しい取組をしていくことの大切さを、コロナ禍から学びました。3年前に戻るのではなく、この3年間で学んだことをもとに、新しい学びをつくっていきたいと思います。

3年修学旅行

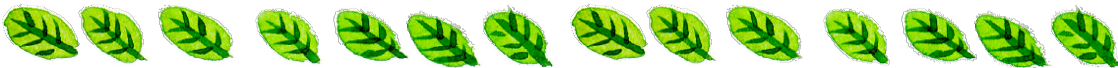


どのように放課後を過ごしていますか？

伊豆の国市の中学校3校では、生徒自身が心身の健康に留意し、趣味や身近な課題など興味・関心のあることについて、広くまたは深く追求するための時間を確保するため、年間を通じて適度な頻度で部活動を行うようにしました。

- ①活動日は原則週4日（火・木・金+土日いずれか1日）とする
- ②部活動ガイドラインに準じた活動時間を適切に確保する
- ③午後4時30分までに、部活動を含むすべての教育活動を終了する

この2か月間、午後4時30分に下校した後、生徒の皆さんはどのように過ごしていますでしょうか。自分の時間をどう使っているでしょうか。これまで、午前8時から午後6時頃まで、10時間近くを学校で生活してきました。人によってはいつも遅くまで宿題をやって、疲れも取れないまま翌朝を迎えていた人もいたかもしれません。下校時間が早くなったことで、自分の時間が増えましたが、効果的に時間を使っているかを見直してみましょ。自分や家族の時間を自分で考えて活用できるよう、学校でも話をしていきますので、ご家庭でも話題にしていきたいと思ひます。また、6月12日の学級懇談でも、放課後の生活についてお話を伺いたいと思ひますので、よろしくお願ひします。



防災学習(1年)

5月12日(金)に、市役所危機管理課職員を講師に招き、「防災講座」を実施しました。狩野川台風の被害の状況などを事例にした分かりやすい説明に、生徒は真剣に耳を傾け、メモをとっていました。また、水害時に使用する土のうの役割を学び、土のう作りを行いました。生徒の作った土のうは、実際に各地域で使われる予定です。



＜生徒の「学習の振り返り」から＞

- ・災害は起きてほしくはないけれど、起きてしまったときに今回学んだことを生かしたいです。私の家族は、土のうの積み方を知らないと思うので、私が教えたいです。
- ・災害の被害を少しでも減らすために、努力することの大切さが分かりました。災害に備えるための工夫を、家族や友達と話し合いたいです。

～スマートフォン・SNSの使い方～

多くの中学生が、スマートフォンやゲーム機のチャット機能を使って、多くの人と自由につながるようになりました。また、動画や画像を気軽に送ることができ、新しいコミュニケーションツールとして使用されています。

それに伴い、SNSのトラブルの報告が増えています。休日に友達と悪ふざけをしている動画や、学校に持ち込んで教員の見えないところで撮った写真をSNSに載せ、その動画や写真が拡散してしまうというような事案です。

学校では、このような行動が個人情報の拡散につながり、場合によっては身の危険につながることを繰り返し指導しています。ご家庭でも、過日配付した通知「社会状況の変化による学校の対応について」を参考に、スマートフォン等の使い方やルール・マナーについてお子様とご確認ください。